

# ECCOXシリーズ クイックセットアップガイド





#### 準備物

- ・ECCOX シリーズ センサー本体
- ・Power-I/O-Encoder cable (バラ線 12pin)
- $\boldsymbol{\cdot}$  Ethernet cable
- · 24VDC
- ・ 接続先 PC

## 手順1:ケーブルの接続

- 1) センサー本体に Power-I/O-Encoder cable と Ethernet cable を接続
- 2) Ethernet cable は RJ45 コネクタ側を PC 若しくはスイッチングハブに接続

## 手順2:センサーの電源及びレーザー用電源の接続

 Power-I/O-Encoder cable のバラ線に 24VDC と 0V を接続 (Pin1[茶/青]:0V Pin2[茶/赤]:24VDC Pin8[青]:0V Pin9[白/黄]:24VDC )

Part number: 6.320.0XX / 6.322.0XX / 6.327.0XX / 6.332.0XX / 6.445.003 | The ECCO 65/75/95/95+ Series has an M12 (12 pin) connector



PIN NO	WIRE COLOR	FUNCTION	DESCRIPTION
Pin 1	Brown-Blue	Ground	Operating Voltage-, 0 V
Pin 2	Brown-Red	VCC	Operating Voltage+, 24 VDC ±15% ripple
Pin 3	Grey	Input 1	5 – 24 V
Pin 4	Red	Output 2	24 V (max. 20 mA)
Pin 5	Orange	Output 1	24 V (max. 20 mA)
Pin 6	Brown	Encoder B-	RS-422 complaint
Pin 7	Green	Encoder A+	RS-422 complaint
Pin 8	Blue	Input 3	ECCO 75: 12 – 24 V ECCO 65/95/95+: Laser Safety Input, GND
Pin 9	White-Yellow	Input 4	ECCO 75: 12 – 24 V ECCO 65/95/95+: Laser Safety Input, 24 VDC
Pin 10	White-Black	Input 2	5 – 24 V
Pin 11	Black	Encoder B+	RS-422 complaint
Pin 12	Yellow	Encoder A-	RS-422 complaint
-	Yellow-Green or Black (thick wire)	EARTH	Grounding Shield

- Every trigger source (Encoder RS422, Digital Inputs) Ground (0 VDC) has to be connected with Ground (0 VDC, Pin 1 Brown Blue) of the sensor power supply.
- Before sensor power-up, ensure that the corresponding pin of an unused sensor output is mechanically fixed in an insulated screw joint, and not connected to Ground.

Failure to wire the cables correctly can risk destroying the sensor.

© 2021 SmartRay GmbH - Subject to change without notice

ケーブルアサイン



## 手順3:SDK のインストール

1) 弊社の下記ページより SmartRayDevKit(Ver6 以降)をダウンロードし、インストール URL: https://www.argocorp.com/software/DL/SmartRay/

## 手順4:PCのイーサネット設定

- IP アドレスの固定
   センサーの初期アドレスは 192.168.178.200:40
  - ①コントロールパネル→ネットワークとインターネット→ネットワークと共有センターを開く
  - ②「アダプターの設定の変更」を開く
  - ③センサーがつながっているイーサネットの上で右クリックして、「プロパティ」を選択し、 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウを開く
  - ④「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」をダブルクリック

← → < ↑ ↓ → ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ↓ → ↓ → ↓ → ↓ → ↓ → ↓ →	パトロール パネル ゝ ネットワークとインターネット ゝ ネットワークと共有セ			
2740-6-8748-6-4 19759-082088 (9 ARGIBBLZORE 3847 249-257 8795)	<ul> <li>基本ネットワーク情報の表示と接続のゼウトアップ アウナィブなキャリ・20歳素</li> <li>キットワークはため、</li> <li>キットワークは定めませ、</li> <li>ドレい地球とはキャレークのたちドラップ カン・ドウバ、ダイドシッフス、まとは VPN 提続をか セットフライス、</li> <li>第四時のシスタッンティング キャレークの供随も沙熱レーチッグ</li> </ul>	79年25日頃間 (129-32)h 単純 ダイー532)h ヤップルます。長ないは、ルーター32は79年2 ボウルト 73/02-7-075(現する時間を入手します。	₹ 2017-2988                 ←             →	ンダーネット ) ネットワーク目前 ドマる この目的の名前を実定する ここ ee Network Adapter VAntill ee Vitual Deterrer Adapter Por 4
回道司司 Workson Defender 27f7?1+ ル インターネット オプリエン				

⑤センサーがつながっているイーサネットの IPV4 アドレスを「192.168.178.XXX」に設定する

	インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ
ットワーク 共有 接続の方法:	全般
Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T4 #3 癔症(C)	ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を開い合わせて ください。
この接続は次の項目を使用します(O):	
<ul> <li>✓ 聖 Microsoft ネットワーク用クライアント</li> <li>✓ 聖 VMware Bridge Protocol</li> <li>✓ Ψ Microsoft ネットワーク用ファイルとブリンター共有</li> </ul>	● 次の IP アドレスを使う(S): IP アドレス(I): 192 . 168 . 178 . 100
<ul> <li>✓ □ OoS パケット スケジューラ</li> <li>✓ 1/29-ネット プロトヨル パージョン 4 (TCP/IPv4)</li> </ul>	サブネットマスク(U): 255 . 255 . 0
Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol     Microsoft LLDP プロトコル ドライパー	<ul> <li>DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(8)</li> </ul>
	● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
インストール(N) 削除(U) プロパティ(R)	優先 DNS サーパー(P):
acron 伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイドエリアネットワークプロトコ	代替 DNS サーバー(A):
ルです。	○終了時に設定を検証する(L) 詳細設定(V)
OF twittle	



2) ジャンボフレームの設定

①アダプターの設定→構成→詳細設定→JunboPacket /ジャンボフレーム

②値を 4000 Bytes 以上に設定。

40プロパティ	× Intel(R) Ethernet Server Adapter I350-T4 #3のプロパティ ×
ネットワーク 共有	全般 詳細設定 ライパー 詳細 イベント 電源の管理
接続の方法: 	このネットワーク アダブターでは次のプロパティを利用できます。左側で変更するプロパティをクリックしてから、右側でその値を選択してください。
構成(C) この接続は次の項目を使用します(O):	プロパティ(P): Flow Control Gigabit Master Slave Mode
<ul> <li>✓ Microsoft ネットワーク用クライアント</li> <li>✓ Wiware Bridge Protocol</li> <li>✓ Wicrosoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有</li> <li>✓ 図 QoS パケット スケジューラ</li> <li>✓ インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)</li> <li>■ Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol</li> <li>✓ Microsoft LLDP プロトコル ドライパー</li> <li>✓ Microsoft LLDP プロトコル ドライパー</li> <li>✓ Microsoft LLDP プロトコル ドライパー</li> <li>✓ Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol</li> <li>✓ Microsoft Network Mapter Multiplexor Protocol</li> <li>✓ Microsoft Network Mapter Multiplexor Protocol</li> <li>✓ Microsoft Network Mapter Multiplexor Protocol</li> <li>✓ Microsoft LLDP プロトコル ドライパー</li> <li>✓ Microsoft Network Mapter Multiplexor Protocol</li> </ul>	Interrupt Moderation Interrupt Moderation Rate Interrupt Moderation Rate Interrupt Moderation Rate Intersection Officad V2 (IPv4) Large Send Officad V2 (IPv4) Locally Administered Address Log Link State Event Maximum Number of RSS Queues NS Officad Packet Priority & VLAN Receive Buffers
説明 伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。	
OK ++>>t)	2ル OK キャンセル

3)受信バッファの設定

①アダプターの設定→構成→詳細設定→Receive Buffers/受信バッファ

②値を「256」に設定



# 手順5:PCのファイアウォール設定(ネットワークの保護解除)

1) コントロールパネル→システムとセキュリティ→Windows Defender ファイアウォール→ 詳細設定



- 2) 操作→プロパティ→保護されているネットワーク接続→カスタマイズ
- 3) センサーを接続しているネットワークの↓を"外す"





# 手順6:PCのファイアウォール設定(特定アプリの許可)

 コントロールパネル→システムとセキュリティ→Windows Defender ファイアウォール→ Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可



2)別のアプリの許可→参照→センサーを使うソフトウェアを選択

#### ECCO Demonstorator

("C:\ProgramFiles\SmartRaySDK6.0.11.13\demonstrator\ECCO\_Demonstrator.exe")

#### Studio4

("C:¥SmartRay¥SmartRayDevKit¥SR\_Studio\_4¥Win\_x64\_MSVC\_19¥SmartRayStudio4.exe")

3) プライベートネットワークに √ を入れる

F可されたアプリおよび機能(A):		
名前	プライベート	パブリック
ECCO_Demonstrator.exe		Ø
and a sure		



〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2-4 新大阪第5ドイビル7F E-mail:argo@argocorp.com TEL:06-6151-9283 URL :www.argocorp.com